

性別に基づいたコミュニケーションの違い (研究論文) Differences in Communication Based on Gender

ショーン・ラナデ Shaun Ranadé

82-474: Pragmatics 語用論

序文:

本論文は、性別に基づいたコミュニケーションの違いを調査する。この本論文では、ソーシャルメディアのビデオとコメントを考察する。そして本論文は、コンテキスト、性別に基づくコミュニケーションスタイルの変化を記述する。語用論的視点からは人間関係によると、尊敬と格式の程度を考察する。とりわけ、私は、私の日本人のフェイスブックのコメントとニュースビデオについて調査する。

私は文法と略語と交感的なコミュニケーションのパターンを考察する。コンテキストに焦点を当て、この論文は性別の関係を考察する。データは、フェイスブックとビデオから取っている。次の3つの仮説が検証される: (1) 簡単な文法と和製英語と略語をよく使用することが増える。(2) 女性語と男性語の頻度とコンテキストによつての使い方。(3) 交感的なコミュニケーションをよく使用する、効率的ではない。この研究の重要性は、私たちが日本社会における男女間の関係を理解することができるというである。この研究は、日本社会における男女の役割とジェンダーステレオタイプについて一石を投じる。

社会的関連性:

日本には社会経済的な問題があつて、この社会的な問題を記述するため

に使用される多くの言葉がある。例えば、負け犬とパラサイト・シングルとフリーターとニートと引き籠もり。日本の最大の問題は、人口の減少である。性別に基づいて、私の意見では草食男子と肉食男子は性別や通信に関連した興味深い社会的な問題となっている。本研究は、おそらく日本の若い男性と女性とソーシャルメディアの相互関係を理解するのに役立つ可能性がある。私は、若い日本人女性が若い日本人男性との関係に影響を与える可能性があり、彼らが話す方法を変更する場合の研究に興味を持っています。男性だけが働き、女性は家事・育児に専念できた時代はとっくに終わったのです。日本の女性の役割は変化しており、男性と女性はコミュニケーションの方法も同様に変化している。これが女性化している男性が増えている理由かもしれない。女性も積極的に働かなければ、日本の雇用環境は維持できないわけだ。

私の意見では日本では、資本主義は女性差別を助長していると思っている。でも、日本は保守的な国民だから家長制度もある。したがって、企業や政治家に向かって批判をするならばあなた方は資本主義を信奉しているなら企業や国の成長にマイナスとなる女性差別を即刻やめるべきだと思う。

歴史：

平安時代に女性は丁寧な言葉遣いを用いる。そして女性は漢語より和語を用いる。1860's 明治時代に日本の工業化が始めた。「てよだわ」言葉が女学生の間で流行文末に「てよ」、「だわ」を付ける言い方。「てよだわ言葉」女性の言葉遣いを特徴づける文末詞を表す表現として、国語学者の中村桃子が作った言葉。1920's 女性の雇用を増加させた（女性の解放）。1920の時代にモダンガール(モガ)は、西洋化の象徴だ。私の意見では、1920時代のモガは今の女性の振る舞いを似ていると思う。戦争と大恐慌の後で日本のナショナリズムは良い妻、賢明な母親の19世紀の理

想に復帰を促した。この歴史的なイベントは、大幅に日本の文化やコミュニケーションに影響を与えた。例えば、日本のパートタイムのしごとは70.2パーセントが女性です。結婚する前に、70パーセントの日本の女性は仕事をする。でも62パーセントの女性は、結婚をした後で仕事を止める。戦争と大恐慌は、女性のステレオタイプを増強してと女性の社会的自由を減っている。

先行研究の検討:

私はフェイスブックやツイッターのステータスアップデートの研究を始めた後でジェンダーの視点から日本人の話し方を研究する2つの雑誌記事を使用見つけた。シュリッツハランは、「Students, Sarariiman (pl.), and

Seniors: Japanese

Men's Use of 'manly' Speech Register」というジャーナルアークルを書いた。

この論文は、日本人男性、(19~28才)は、ジェンダーアイデンティティを作成するために男らしい言葉を使用していることを明らかにした。そして定量的方法は、典型的なジェンダーステレオタイプが使用される頻度を確立するために使用された。

フィギュア 1 :

CINDI STURTZ SREETHARAN

TABLE 1. Stereotypical gender categorization of SJ and HKD sentence-final particles.

	Strongly Masculine	Moderately Masculine	Neutral	Moderately Feminine	Strongly Feminine
HKD	(k)ke ⁵ ;	ga na; kai;	de; non; nen/ten; shi; de ne; na; wa↓na; ya		
SJ	zo; ze; na	da yo; kai; ka na; mon na; VB/ADJ+ yo na; sa; VB/ADJ+ yo; ja n;	VB/ADJ+ yo ne; VB/ADJ+ ne; wa↓; Q no↑	mon/o; NOM+ ne; ~te + ne (request); VB/ADJ+ no↓;	kashira; VB/ADJ+ no(yo)(ne); VB/ADJ+ wa(yo)(ne); NOM+ na no(yo); NOM+ yo; wa↑

● (HKD) = “Hanshinkan Kansai Dialect”.

● (SJ) = Standard Japanese.

シュリッツハランの男らしいさと女らしいさのジェンダーステレオタイプモデルを使って50人の日本人フェイスブック友達のコミュニケーション分析する。作者によると、多くの研究は複数のコンテキストをすることだという全体でわかる必要だと思っている。例えば、男性と女性の言語の実践を検討すると多くの経験的な作業や社会的が必要である。そして、高齢化が行われるにどのように言語慣行がシフトする、変更できるか。

第二の作者レイノルズは、「Aspects of Japanese Women's Language, Tokyo」を書いた。レイノルズは女らしいコミュニケーションと女性差別について、東京の女性の音声パターンを分析した。そして、色々なステレオタイプを説目した。例えば間接的な言い方、パッシブ文法と柔らかめの言語。

フィギュア 2：レイノルズの研究

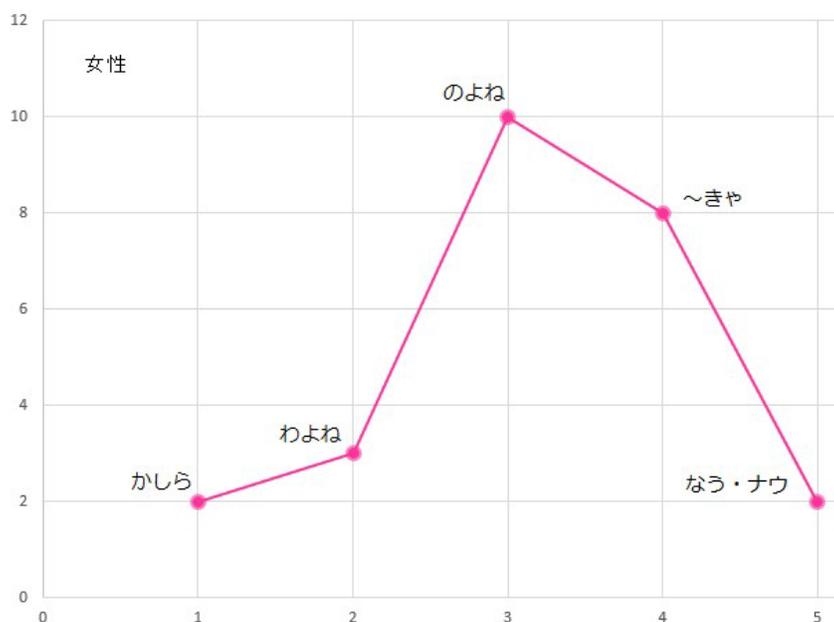
<p>2.2 In the above-mentioned study (Reynolds 1985), I attempted to show that most linguistic rules applying only if the speaker is female have the effect of reducing assertion, or expressing formality or politeness (hearer orientation), which indicates that the social foundation of female speech is a sex-segregated hierarchical society in which women are viewed as inferior. Some examples of such rules may be in order. (See Reynolds (1985) for more detailed illustration of each rule.)</p> <p>A. Rules of assertion reduction</p> <p>Copula deletion (NP - COPULA → NP - φ)</p> <p>(1)–(a) <i>tegami-o kai-ta no da.</i> (Male) letter-ACC wrote NOM COP 'It is that I wrote a letter.'</p>	<p style="text-align: right;">Katsue Akiba Reynolds</p> <p>(b) <i>tegami-o kai-ta no.</i> (Female*)</p> <p>Imperative deletion (V - te - [V] → V - te - φ)</p> <p>(2)–(a) <i>tegami-o kai-te-kure.</i> (Male) letter-ACC write-&-give 'Write a letter for me.'</p> <p>(b) <i>tegami-o kai-te (ノ).</i> (Female*)</p> <p>Interrogative deletion (S - ka → S - φ)</p> <p>(3)–(a) <i>tegami-o kaku ka (ノ).</i> (Male) letter-ACC write Q 'Will you write a letter?'</p> <p>(b) <i>tegami-o kaku (ノ).</i> (Female)</p> <p>B. Rules of formality</p> <p>(4) <i>tegami-o kaki-masi-ta no.</i> (Female) letter-ACC write-FORM-PAST NOM 'I wrote a letter.'</p>
--	--

レイノルズさんによると、女性はよく間接的なスタイルをつかう。例えば、女性はインフォーマル言葉を使って「か」を使わない。でも男性はインフォーマルと「か」を使う。（直接的）レイノルズさんによると、これは男尊女卑の影響だ。強く女性的:かしら, わよね, のよね, ~きゃとなう。調査内容：

フェイスブック データを収集する。適切なリサーチ方法を選ぶとオンライン調査と文献レビューとソーシャルメディア分析はいいと思う。フェイスブック で

50人くらい18-25歳日本人友達がいる。略、男の子と女子の等しい量。女性のフェイスブックの言語の頻度テーブル：

性別に基づいたコミュニケーションの違い
(フェイスブックのデータ)



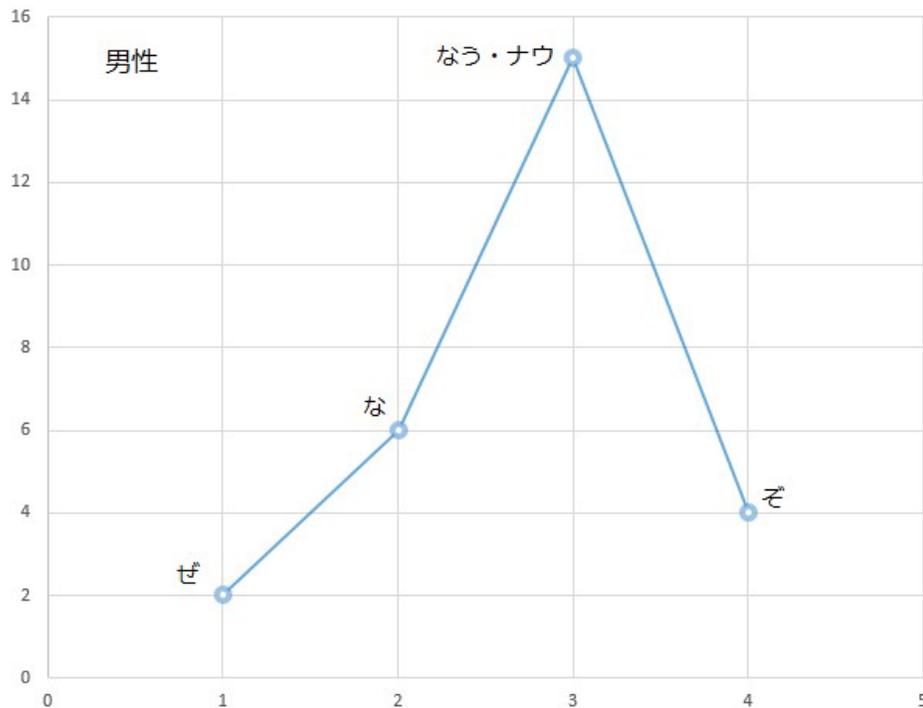
- 女性コメント#: 138 ; 合計コメント# = 250
- 50人日本の女性 (23) と男性 27)

スピーチ パターン	頻度
VB/ADJ + No(Yo)(Ne) のよね	10
VB/ADJ + Wa(yo)(ne) わよね	3
～きゃ ~kya	8
かしら kashira	2
なう・ナウ Nau	2

フェイスブックのデータによると、「～のよね」は、一番人気な女性的なスピーチパターンだ。不確かな感情を表現したり同意を探している。日本の女性は、直接することになっていない。間接的なスタイルは、いいと思っている。面白いことは、「なう」のスピーチパターンは、女性的じゃないで日本の女性はよく使わに。「なう」は、直接的で丁寧じゃないだと思っている。

このデータはニュートラル言語のスタイル日本の女性は示唆している。女性は男性により平等になってきているかもしれない。雇用と機会を増加させたから。(1920の回帰) 男性のフェイスブックの言語の頻度テーブル：

性別に基づいたコミュニケーションの違い (フェイスブックのデータ)



- 男性 コメント#: 112 ; 合計コメント# = 250 comments.
- 50 人日本の女性 (23) と男性 27)
- 男性は、「なう」をよく使って自分のロケ先を説明する。「ぞ」と「な」は、男性的なスピーチ パターンであってとても直接的だ。強く男性的:ぜ, な, なう・ナウとぞ。

スピーチ パターン	頻度
~ぞ Zo	4
な Na	6
ぜ Se	2
なう・ナウ Nau	15

ナウ・なう(略語):

ツイッターにより流行りだしたこの言葉「なう」。なうの意味とは、英の「now」を日本語で読んだものです。そして、意味も「now」と「今」意味とほぼ同じです。しかし、ここは理解が難しいネット用語。少し意味が広くなり、「今〇〇をしているところ」そして「今〇〇にいるよ」という意味でよく使われる。例えば、「晩飯なう」とは、「今晚飯」という意味になります。「温泉なう」は、「今、温泉にいるよ」という意味です。私の友達わたなべさんは、フェイスブックで「ドームなう」のステータスを書いた。意味は、今ドームやスタジアムにいる。私のデータによるとナウ・なうは、ほとんど男性語だ。

暫定的な結論:

シュリッツハランの男らしと女らしいジェンダーステレオタイプモデルは、まだ関連だ。私の意見では、ジェンダーのステレオタイプは、ソーシャルメディアのコミュニケーションで補強されている。しかし、男女格差が減少しているという証拠がある。私の意見では、女性の雇用が1980年の増加は、話すよりジェンダーニュートラルなスタイルを引き起こしてかもしれない。女性はまた、同様の点を強調するために、男性語を使用する場合がある。私の研究は、女性の言語がシュリッツハランは、男性のためにしたのと同様に、ニュートラルになってきていることが確認された。

参考文献:

Sreetharan, Cindi Sturtz. "Students, Sarariiman (pl.), and Seniors: Japanese Men's Use of 'manly' Speech Register." *Language in Society* 33.01 (2004): n. pag.

Female speakers of Japanese in transition," in S. Ide & N. McGloin (eds.), *Aspects of Japanese Women's Language*, Tokyo: Kuroshio Shuppan, pp.129-146.